

特集

SPECIAL ISSUE

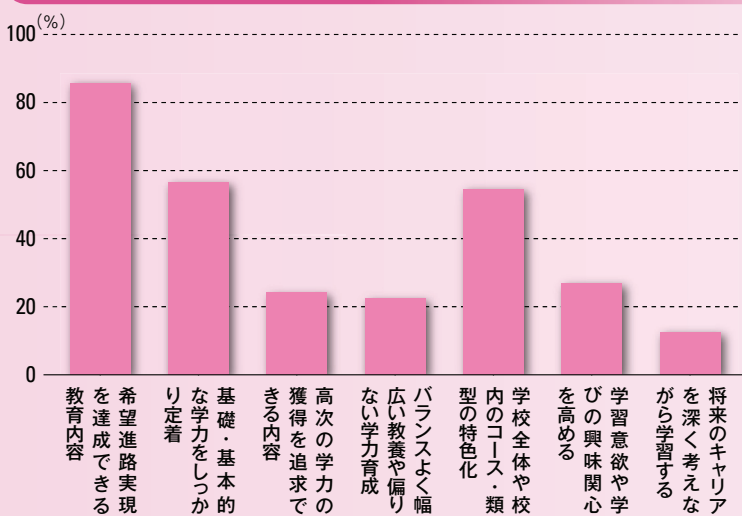
SIを土台に

新課程

カリキュラムをつくる

各校の教育目標を実現するために、
新課程の制度の中でどのようにカリキュラムを設計すればよいのだろうか。
教師の声を基に考える。

新課程に向けて「大切にしたい視点」は何ですか



*複数回答

出典/ベネッセコーポレーション高校事業部「新教育課程に関するアンケート」(調査概要は P.6 参照)

「生徒の希望進路の実現」を大切にしたい
という回答が圧倒的に多かった。

1

新課程に向けた予測

ベネッセコーポレーション高校事業部「新教育課程に関するアンケート」結果より

各校の総単位数は、現行課程と同じか、あるいは増える

高校入学段階での学力格差が広がる

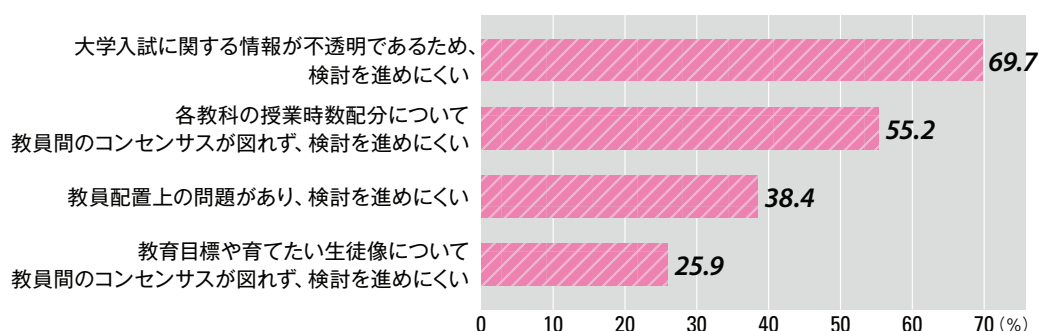
「言語活動の充実」「活用重視の授業」などは、教科により指導にばらつきが出る

2

新課程カリキュラム策定上の課題

【P.6 現状把握】

新課程に向けて校内での検討が前進しにくい要因



*数値は「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計
出典/ベネッセコーポレーション高校事業部「新教育課程に関するアンケート」

3

課題解決の視点

新課程で授業の質を高める視点

【P.8 座談会①】

学校目標の達成を支えるペース

- ・教える内容を精選し、狙いに合った教材を選ぶ
- ・生徒のアウトプットの機会を増やす
- ・生徒に深く考えさせる「問い」を投げかける
- ・教科書をしっかり読める生徒を育てる
- ・授業ですべてを教えきらない

学校目標 (SI) の実現

1年次のカリキュラム策定の視点

【P.12 座談会②】

新課程カリキュラム策定の考え方

- ・理科の履修を工夫し、文理選択を判断しやすくする
- ・国数英の基礎学力を重視する
- ・英語はアウトプット中心の授業から始める
- ・学び合いの授業を重視し、学力層拡大に対応